第６回東大阪市地域公共交通会議議事録

日　時：令和８年４月１７日（金）１０時００分～１１時００分
場　所：東大阪市役所本庁舎１８階　研修室
参加者：別紙出席者名簿のとおり

髙橋会長それでは議事に入ってまいります。次第に基づきまして議事を進めていきたいと思います。本日は協議案件を１件、議題提案させていただいております。それでは協議第１号、令和８年度に国庫補助を用いて実施する事業について、事務局から説明をお願いします。

【協議第１号】令和８年度に国庫補助を用いて実施する事業について

事務局　＜資料１について説明＞
髙橋会長ただいま事務局より説明のあった内容について、ご意見ご質問がございましたら、挙手の上、ご発言をお願いします。
中野委員地域旅客運送共同配車システムの事業について質問します。こちらの事業は既に運用されている、AI オンデマンド乗合ライドシェア「まいどトライド」（以下、まいどトライド）で配車可能なアプリがあり、そのシステムを発展させるということでよろしいでしょうか。
小林委員そのとおりでございます。現在、LINE アプリを活用した配車システムを使用しておりますが、そのアプリに新しく機能を追加するということとなります。
中野委員今、まいどトライドでアプリを使用し、配車をされている方の割合はいかがですか。
小林委員電話とアプリの配車が可能であり、割合は５割ずつとなっています。
宮本委員中部地域・西部地域巡回乗合運行事業について質問します。当社が運行していた路線で公共ライドシェアを実施するということですが、放出方面への路線は約 2 年前に、住道方面への路線は約 10 年前に廃止しているなか、今、この２路線を復活させるということは、地元の方などから要望があってのことと思いますが、具体的にどれくらいの強さで要望があるのか教えていただけますか。
小林委員まず、吉田から住道方面への路線である中部地域に関してですが、毎年のように加納地域の自治会から要望が寄せられております。さらには、個人ではありますが市民のみなさまからの要望も寄せられております。もう１つの布施から放出方面への路線につきましても、周辺自治会の方々および市民のみなさまから同様の要望をいただいております。
宮本委員どこへいきたいなどの声は上がっていますか。
小林委員バスで行くことが可能であった病院や駅へ行きたいという声が多いです。
藤埜委員私は、公共交通行政に 20 年近く携わっておりますが、特にこの吉田住道線に関し

ましては、廃止になってからも年に 2 回程度、団体で市へ来庁し、復活の要望をされておられる状況です。この路線につきましては、住道の駅に行きたいという声が 1 番多く寄せられております。数年前には、その要望を受けて地域交通拠点を作り、タクシーが地域のタクシー乗り場に常に停まっているといった社会実験を行っております。最近では、吉田から花園方面への路線が廃止されていますが、この路線の復活要望はあまり多くなく、吉田から東花園へ行ってほしいという要望が増加しております。布施から放出間におきましては、病院等に行きたいという声もございますが、布施駅に行きたいという声が 1 番多く上がっております。要望に関しては、このような状況でございます。

宮本委員中央大通りより北にお住まいの方が布施駅に行きたいという要望でしょうか。

藤埜委員中央大通り北側にお住まいの方に限らず、沿線のみなさまより、要望があげられております。

天野委員地域旅客運送共同配車システムの事業について質問します。現在、社会実験で運行されておられますが、乗客の方が、「いつもタクシーに乗っている」や、「タクシーに乗ったことはない」などのアンケート調査は行っておられますか。「タクシーがいなかったから、まいどトライドに乗る」や、「まいどトライドが来ないからタクシーに乗った」などの声が我々、事業者へ寄せられています。これらの方が、まいどトライドしか乗らないのか、タクシーも乗るのかの割合なども調査されておられますか。

小林委員現在、定量的な数字は把握しておりません。ただ、おっしゃられたようにまいどトライドしか乗らないという方がいたとしても、この新たなシステムにより、乗ろうとする距離等でまいどトライドよりもタクシーの方が得などの判断をしていただけるようになると考えています。

天野委員そのことにより、両方の利用促進を図るということでしょうか。

小林委員はい、そのとおりです。

天野委員アンケート調査などで、どれくらいの方が望んでいるかも把握できれば良いかと思います。

小谷委員中部地域・西部地域巡回乗合運行事業について質問します。事業実施の時期、および、購入される 2 台の車両の運行時間などは決まっておられますか。

小林委員まず、実施時期については、補助金を使用して事業を進めていこうと考えており、その補助金の交付決定以降ですので、現段階で明確にいつから開始するとは言いづらい状況ですが、秋ごろを目標にと考えております。時間帯につきましては、平日の 9 時から 18 時ごろと考えております。

小谷委員現在、東部地域で社会実験として乗合交通を運行しているということですが、料金体系と今後、中・西地域にも広げていくのかお聞かせください。

小林委員乗合交通のまいどトライドの料金体系は、一律 500 円となっております。現在、東地域しか運行していないのは、もともと mobi という乗合交通が運行されていたものが撤退したことを受け、その代替という形で市が社会実験として運用しております。中・西地域に

つきましては、そのような状況にございませんので、運用する予定はございません。
中野委員地域旅客運送共同配車システムの事業について追加で質問します。このエリアには、複数のタクシー事業者がおられると思いますが、この配車システムは基本的には、このエリアの全社へ共有するということでよろしいでしょうか。
小林委員はい。これが事業として開始した際には、当然、タクシー会社様へお声をかけさせていただきます。
小川委員東大阪市自動運転バス実装プロジェクト事業について質問します。自動運転バスを走らせることを目指しているということでしょうか。
小林委員将来的には自動運転バスを目指していきますが、今年度は通常のバスで運行します。
小川委員自動運転バスを運行するにあたっても、使用できる補助金はございますか。
小林委員将来的にいつまで補助金があるかは分かりかねますが、現在において、自動運転バスに使用できる補助金はございます。
小川委員いつ頃を目途にされておられますか。
小林委員令和１１年度を目標としております。
小川委員自動運転の範囲としては、東大阪全域を考えておられますか。
小林委員今年度実施する範囲は、長田－荒本間です。
小川委員最終的には、東大阪市全域を見据えて進めていくということでしょうか。
藤埜委員この事業につきましては、このエリアには企業団地が３団地あり、その通勤の足がないという声もあり、始まった事業です。我々としては、極力、経費を削減した中で実装できたものに関しては、民間事業者へ事業譲渡したいと考えております。そのノウハウを民間事業者様にお伝えし、市内のバス事業者の各路線に転用可能なものは転用いただきたいと考えております。市が、バス事業を市内全域に展開していくものではなく、この事業でノウハウを積み重ね、各バス事業者にお伝えしていくことが目的となっております。
小川委員タクシーやバス事業者に影響が大きいと思ったが、そのような目的であれば問題ないと思います。
堀田委員地域旅客運送共同配車システムの事業についてご質問します。タクシー事業者への支援事業として捉えてよいでしょうか。
藤埜委員市の公共交通の考え方ですが、でき得る限り民間事業者にお任せしたいと考えております。まいどトライドも民間事業者のバス、タクシーで十分にまかなえるということであれば、将来的には必要のなくなる交通であると考えております。その中において、交通の観点だけではなく、福祉の視点に立った際に、さまざまな交通機関を利用したいという声も上がってきている状況がございます。タクシー事業者のみで、すべての福祉に対する交通を網羅させることは難しいため、民間事業者で引き受けられない交通をまいどトライドで引き受けていきたいという趣旨の事業です。ただし、やはり、交通の主体は民間事業者であり、どうしても抱えきれない需要を、公共がまかなうという考えですので、地域旅客運送共同配車システムの事業により、今までタクシーを利用されてない方が、利用していただくことに

よって、もっと東大阪市のタクシーが充実していくことが望ましいと考えています。
堀田委員まいどトライドがタクシーにプラスして一緒に運行される、つまり、LINE 配車をすることで、タクシーとまいどトライド、どちらが良いかを選べるようになるということでよろしいでしょうか。
小林委員そのとおりです。
西村委員藤埜委員の発言をうけて、まいどトライドについて、社会実験を開始して半年ほど経過するが、採算については半分程度の持ち出しがある状況です。東部地域は山手になるので、客が少ない。布施などの平地で運用したほうが丁度良いぐらいに便利になると思うが、タクシーが多くいるので、今のところで運用するほうが良いと考えている。実際は一度、平地で運用してみたいと思っている。採算がプラスになるならタクシーに乗ってもらわないと意味がないと考えている。これらの新しい事業をやろうと思っている事業者は参考にしてほしいが、放出から布施は赤字になるだろう。もう一つの方は、住道に行くなら採算はプラスマイナスゼロで終わるだろう。自動運転についてはものすごく赤字になるだろう。毎回言いますが、自転車が多いのでなかなかバスに興味を持ってもらえない。自転車降りてバスに乗ってもらうための策を考えて、小さい子達が乗りたいなと思える車両として、この 4 月に新しいトライくんのラッピング車両を 2 台用意しました。また料金体系を簡単に乗れるように安くする予定です。大阪市のバスのような乗り継ぎのしやすさも考えているが、あんまりやるとタクシーが営業しにくくなるので、どこまでやれば良いか悩んでいるところ。市と相談して進めたいところだが、空気を運ぶのではお金にならない。実施する事業者は、奉仕の精神を持ってないと厳しいと思う。市内にタクシーは居るが、流しのタクシーが少ないと聞いている。来たと思ってもお客さんが乗っているので、流しも考えてほしい。
堀田委員先ほどの福祉の観点からいうと、最近、レンタル電動自動車の普及が広がっていますが、若い人中心のツールであり、高齢になると自転車にも乗らないため、高齢者は、やはり、バス、タクシーを自分の足として利用したいと感じています。なので、料金、運行状況について、高齢者に対して利用しやすいように、力を入れていただきたいです。
藤埜委員市として、先ほど西村委員からもご指摘がありましたが、3 事業とも黒字になるとは考えておりません。今年度の事業委託については、委託事業者が赤字とならないよう、赤字部分は本市で抱えながら事業を進めていきます。その 1 番の目的は、東大阪市が福祉交通を支えた場合、どのくらいの費用が必要なのかを把握することです。福祉にも様々な事業があり、膨大な予算を使用しておりますが、その福祉の中で、交通がどれくらいの位置付けになるのかを調査することも目的としており、例えば、この路線を 1 路線支えるのに係る費用が 100 万円なのか 3000 万円なのかなどを調査し、他の福祉施策との優先順位を鑑み、何が重要なのか、東大阪市として判断していくこととなります。事業としては交通の事業として進めてまいりますが、このような福祉の観点の目的も含まれるとご理解ください。
高橋会長 20 年ほど前に布施と放出を結ぶバスの沿線に住んでいた経験があり、その頃は JR

おおさか東線も開通しておらず、自転車に関しても、最近では、駅前にレンタサイクルが整備されるようになってきており、状況も変化してきているかと思います。さまざまな交通手段があり、それぞれ便利に使っておられるとは思いますが、一方で、後期高齢者の方にとって自転車は危険な乗り物になってしまいかねない状況もあり、また、雨が降った場合はどうするのかといった課題もあります。デマンド交通につきましても、隣接する大阪市では多く導入されてはいますが、「予約が取りにくい」や、「かえって時間がかかる」といった声もあり、それであれば、タクシーを使った方が良いのではといった場面も多々あります。その辺りの合間を調整していくことも、これからの地域公共交通の施策の役割になっていくと感じています。もちろん状況がどんどん変化していくので、様々な実験をおこない、その状況の変化に対応するというのが求められていくだろうと思います。例えば、自動運転といいましても、今回の社会実験でおこなうのは、実際には自動運転ではなく、ドライバーのいるバスでございますので、先々にといっても、一時もてはやされたほどのスピードで、特に無人運転の技術進歩が進んでいるようには思えないというところもあります。かつてに比べると、どこの自治体でもそうですが、行政が交通に積極的に関与する比率が上がってきている部分もあり、それに合わせて国土交通省がいろいろメニューを用意してくださっていますので、それら活用していくということが、年度当初から積極的に、いくつかの新しい施策を打ち出した結果だと私は捉えております。確かにやってみないとわからないことは多々ありますが、そこは今申し上げましたように、国土交通省でもいろいろと検討され、仕組みを用意してくださっており、これをまず活用してみようというのが本旨だと考えております。

その他、ご意見等いかがでしょうか。特になければ、協議第1号につきましては、3点とも協議が整ったということで扱いたいと思います。よろしいでしょうか。

委員一同はい。

高橋会長ありがとうございます。それでは、本日の議事は終了といたします。続きまして次回の会議での議題につきまして、委員の皆様からご提案を伺いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

天野委員具体的な内容については、次回の会議で提案されるという理解でよろしいでしょうか。

小林委員はい。特に、公共ライドシェアにつきましては、協議会または、地交会で協議させていただくこととなります。

藤埜委員運賃やルートに関しても、どちらかの会議でお示しさせていただきます。

高橋会長順調に進めば、夏頃に開催可能でしょうか。

小林委員補助金のタイミング次第ですが、順調にいけば夏ごろになると思います。

高橋会長承知しました。本日の会議の後に、ご提案思いつかれた場合は、4月の24日までに私もしくは事務局までご連絡をいただければ、対応させていただきます。それでは、事務局へ進行をお返しします。

事務局高橋会長ありがとうございました。次回、第7回の開催につきましては、日程等が決

まりましたら、事務局よりご案内差し上げます。それでは以上をもちまして、第６回東大阪市地域公共交通会議を終了いたします。本日は長時間のご議論ありがとうございました。
委員一同ありがとうございました。

以上